

# 山行報告書

報告書作成

2008年10月20日

山名 [山域]	信越トレイル 牧峠～仏ヶ峰(関田山脈)	目的と方法	紅葉見物とトレイルを歩く
登山期間	2008/10/18・19	山行形態	縦走・ピストン
参加人数	2人		

## 行動記録

10/17(金) 宮城宅(20:10) = R153=飯田山本IC(21:55)=駒ヶ根SA(22:20・22:50) = みどり湖SA(24:00)仮眠10/18(土) みどり湖SA(5:30・5:40) = 豊田飯山IC - 梨平(9:28) - 関田峠(10:03) - 黒倉山1242M(11:20) - 鍋倉山1288M(11:40・12:05) - 小沢峠(13:11・46M(13:47) - 戸狩温泉スキー場とん平登山口(14:33) - ゲレンデの中700M下る - 戸狩温泉スキー場(15:15・15:30) = 野沢温泉 = 花の駅千曲川(19:35)泊  
 10/19(日) 花の駅千曲川(3:45・4:15) = 斑尾高原チロルP(4:55・5:10) - 斑尾高原スキー場・かえでのル - 斑尾山1382M(6:30) - 大明神岳(6:38・6:55) - 斑尾山(7:05) - チロルP(8:00・8:10) = はしば食堂(8:40・9:35) = 金平の湯(9:40・10:50) = 花の駅千曲川(10:20・12:50) = 信州中野IC(13:12) = 塩尻IC(14:12) ¥1300(14:13) = 飯田山本IC(15:32) ¥1200 = 宮城宅(17:45)

## 概念図



## 日誌

10/18(晴)霧の中 千曲川添いに車を進め、牧峠に着く頃には、すっかり明るくなり木々の黄葉も見頃である。先着の車の横を抜け信越トレイルに足を踏み入れる。少々アップダウンは、あるものの手入れの行き届いた歩きやすい尾根道しかもブナのトンネルである。関田峠に到着すると10数台の駐車あり。鍋倉山の人気、伺える。本日のコースのほぼ中間点だ。お昼近くの鍋倉山山頂は、ツアーや登山客で、かなりの賑わいである。我々は、喧騒を後に仏ヶ峰へと向かう。大半の人は、鍋倉ピストンか周回である。素晴らしいブナ林の黄葉を堪能し仏ヶ峰から、下りに入り戸狩温泉スキー場のゲレンデの中、ススキの原を縫い下山し本日のトレイル12・6Kを終えた。その後、野沢温泉外湯めぐりをし花の駅千曲川にてテント泊。

10/19(晴)体調不良の為、予定を変更し斑尾山をみのピストンとする。夏場なら明るいはずの5時、ヘッドライトを点けての登山開始。草刈りの手入れのよい斑尾高原スキー場の中の直登コース、道に迷う心配はない。ほどなく明るくなり始め7時には山頂到着。展望のよい大明神岳まで行き野尻湖を眺めながら休憩をとる。急き立てられる様に山頂を後に急斜面のゲレンデを下山し車に戻る。「NHK釣瓶に乾杯」に出演していた富倉そば・はしば食堂へ、一番乗りし、開店を待つ。名物ばあちゃんとお話をしオヤマボクチのつなぎのそばを堪能する。さらに山沿いに少し上がると村人が、造った温泉(協力金200円) 金平の湯 があり汗を流し 明るいうちに岐路についた。

## 感想

ブナの森の続く信越トレイルです。今年の黄葉は、いまひとつの感ありでした。9月末の降雪で、葉が痛み風か雨に当たれば落葉するかと思います。春のブナの芽だしもきっと素晴らしいことでしょう。宮城さんの御主人の運転に感謝です。